

第9回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

- ◆開催日時：平成29年6月2日（金） 18：00～
- ◆開催場所：登別市役所2階 第1委員会室
- ◆出席部会員：部会長 江口 武利
副部会長 川島 芳治
部会員 遠藤 潤
和泉 薫
丸 博子
千葉 浩樹（協働推進庁内委員会）
【総務部次長】
千葉 秀樹（協働推進庁内委員会）
【総務部総務G 防災主幹】
- ◆欠席部会員：部会員 久保田 博史
関 修
- ◆事務局： 早坂 晃正【市民生活部市民協働グループ主任】
笹田 恭平【市民生活部市民協働グループ】
- ◆議題：「健康」に関する取り組みについて

《事務局》

事務局から今日の会議の流れを説明させていただきます。

始めに、2月15日（水）に開催しました第3回目の部会長・副部会長会議の概要について説明させていただき、部会長に引き継ぎたいと思いますのでよろしく申し上げます。

部会長・副部会長会議では、市の新年度予算案の内容について、配布資料に沿って部会ごとに事務局から説明しました。

配布しております「「健康」をテーマとした取組」と書いてあるA3横の資料をご覧ください。

上段には、体系図で「情報発信事業」「調査事業」「体験事業」ということで各部会が取り組むことを記載しております。

下段の部分は各部会の取組内容を記載しており、その取組みに関連する市の事業や経費の想定される部署を右側に記載しております。

各部署については、必ずしも部会で実施する取組みに連動して関わっていくというものではございませんが、参考までに記載しております。

各部会の取組内容として

ぬくもり部会は、特定健診の受診率向上に向けた取組みを行うこととしており、皆さんにもアンケートを送ってご協力いただきましたが、まずは市民自治推

進委員会の委員の方の実態を調査してみて、受診率の向上に向けた取り組みを議論していくこととしております。

内容的には事務改善的なものが主になってきますので、新年度の予算措置はしておりません。

防災・環境部会は、前回の部会長・副部会長会議において、自然環境に触れるようなウォーキングに取り組むということで、市民参加のバス借上料と参加賞の景品代を要求するとの説明をしておりましたが、その後の部会において、お金をかけないような取組みにした方が良いとの話になり、イベント形式の取組をやめて、資料に記載のとおり、災害時の避難経路のウォーキング等の取組を行うこととして、新年度の予算措置はしておりません。

産業躍動部会は、地場産の食材を使用した料理教室を開催するというので、食材の材料費等を予算処置しております。

なお、予算要求の際における市内部の協議において、市民自治推進委員会で料理教室を行う場合は、市の既存事業においても料理教室を行っているものがありますので、それとの整理が必要ではないかとの話がありました。

したがって、料理教室に関する予算措置の内容は、保健福祉部健康推進グループが所管する既存事業であります食育事業の親子料理教室に関する予算に地場産品の食材費を上乗せしております。

また、観光経済部商工労政グループが所管する既存事業である婦人センター講座に関する予算にも同様に食材費を上乗せしております。

都市調和部会は、「きらり健康ふれあいウォーキングマップ」を新しくする印刷製本費を要求することとしておりましたが、ウォーキングマップを所管する社会教育グループが新年度にウォーキングマップをリニューアルすることとしておいて、社会教育グループが印刷製本費を予算要求しておりましたので、市民自治推進委員会に関する経費では予算措置はしておりません。

実際の取組としては、社会教育グループがウォーキングマップをリニューアルする際に、都市調和部会のアイデアなどを取り込めるような形にしたいと思います。

現在、ウォーキングマップについて社会教育グループが都市調和部会に参加して協議を進めている状況です。

育み部会につきましては、公園の利用実態調査に取り組むということで、前回の部会長・副部会長会議の説明では、連合町内会に協力を依頼し、連合町内会側から謝金は必要ないとの話があったことから、予算措置はしておりません。

なお、その後の部会において、調査対象を小中学校及び幼稚園、保育所としてアンケート調査を実施したところで、現在調査結果をまとめているところです。

まちづくり部会につきましては、健康に関する講演会の開催ということで、講

師謝礼の6万円予算措置しております。

ただし、予算要求における市長との協議におきまして、市民自治推進委員会の委員が講師をするのであれば、無報酬でお願いしたいとの話があったことから、まちづくり部会の委員さんが講師をする場合は、無報酬でお願いすることになりました。

2枚目の同じくA3横の資料についてですが、健康を中心とした各部会の取組については、1枚目と内容は同じですが、下段に各部会の取組を実施することにより、委員が所属する団体等による想定される取組や関わりなどを記載しております。下段の右側は市の関連する事業や経費を記載しております。

市の新年度予算に関する説明を終了は以上になります。

会議の中で、各委員から発言のあった内容ですが、「市民自治推進委員会の取組を広報紙などで市民に周知していきたい」「市民や各団体を巻き込んでいきたいので、その方法を次回の部会長・副部会長会議で話し合う」との意見や、委員長からは、「今後の各部会の取組みとしては「健康」を1つの柱として取り組んでいきますが、健康に特化するのではなく、各部会で協議して、プラスアルファで取り組むことも可能ですので、取り組む場合は部会長・副部会長会議で報告してもらおう」という意見がありました。

それから、第2回目の部会長・副部会長会議で話のありました、北海道の受動喫煙防止に関する取組みについては、逐次情報提供することとしておりましたので、新聞記事を配付し情報提供いたしました。

そのほか伊達市で行っているポイントカードについての情報提供を行いました。

また、委員長から会議に出席した際に配付された「疾病分類別多発疾病上位20傑」や別の会議の際配布された「青と黄色と緑」のパンフレットが情報供としてありましたので、本日皆様にも配付しております。

また、新聞記事ですが、先日の予算委員会で市民自治推進委員会に関する質問及び答弁があり、新聞には市側が答弁した内容と異なる意味合いで掲載されてしまいました。

この報道により、一部の委員から副委員長に問い合わせがあったことから、委員長より一度市と共通認識を持ちたいとの話があり、3月17日に委員長副委員長に市の答弁内容とは別の意味合いで掲載されている旨を伝え、ご理解をいただきました。

また、委員長から各部会へも報告した方がいいとの話があり、部会開催時に皆さんに報告することとなりました。

今回の記事については、読む人それぞれの捉え方があると思いますが、実際に答弁した内容としては、庁内委員として市職員も部会のなかで協議していき、以

前に失敗したことの無いような形でやろうということで進めており、もしもこの方法では上手くいかないのであれば、また違う方法を考えなければならないとも思っていますが、今はこの方法で皆さんと共にやっていくという考えである旨と答弁しております。

市の考えとしては、市民自治推進委員会は特定の目的のための委員会ではなく、市政全般にわたり、市民と行政の協働のまちづくりを推進する重要な委員会として位置付けされております。

そのなかで、「市民自治の推進」や「市の進める事務・事業」といったことを協議することとされており、自分たちのまちづくりは自分たちで進めるといった市民自治の趣旨を踏まえ、市民と市がどのように協働していくのかを議論していくこととしております。

皆さんご存知のとおり、現在、市民自治推進委員会では、昨年4月の全体会議において各部会とも「健康」をテーマとしてその取り組みについて議論を進めておりますが、自分たちのまちづくりについてどのようなことができるか話した結果、市民が身体的、精神的に健康でなければまちづくりを進めていけないと考え、医療費のかからないまちづくりを進めるため、「健康」ということを柱として取り組んでいくことで決まりました。

現在は「健康」をテーマとして議論し、平成29年度はその取り組みを各部会とも進めていくこととなりますが、その部分にこだわるものではなく、今後はその他の取組みや実施計画の中身のことも皆さんと協議しながら進めていきたいと考えております。

また、前回の部会長・副部会長会議でも話がありましたが、委員長・副委員長からは、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に1度くらいは広報紙で周知をしていくという話がありましたので、市としましても取組みをして参りたいと考えています。

説明は以上になりますが、部会長と委員長、副委員長も会議に出席されてましたので、会議の内容等について追加の説明がありましたらお願いします。

《部会長》

これからの防災・環境部会はウォーキングマップが完成次第コースを歩いてみる予定でいいですかね。

《副部会長》

体を動かすことは大切なことですね。災害時、避難する時も健康でなければ避難できません。泳ぐことだけではなく、らくあにある歩行用プールを歩くだけでも健康を維持する為に効果がある事だと思います。

《部会員》

以前よりプールを活用している人が多くなりました。

《庁内委員》

今後の防災・環境部会についてですが、ウォーキングマップを活用して歩くとおっしゃっていましたが、そのウォーキングはどなたを対象に行うのですか。

《部会長》

市民を対象に行うつもりですが、部会での呼びかけは難しいので連合町内会に依頼して情報を発信する予定です。

《副部会長》

毎年、私の町内会では、市で作った防災マップに災害時危険な場所を付け加えて、避難場所を確認しながらウォーキングしています。

《部会員》

ウォーキングマップを活用して、何か所かの避難場所を回るのも良いですね。

《副部会長》

しかし、地域によって変わってくると思います。避難場所が3か所も4か所もある場所は大変です。

《部会員》

運動を兼ねてということで、1か所だけではなく何か所かまわって丁度いい距離になれば良いかと思います。

《部会長》

自分の町内会の避難場所だけを回ったら10分以内で終わってしまい、運動にならないですね。

《部会員》

そうですね。近くの避難場所を何か所か周ってもいいですよ。

《部会長》

話は変わりますが、ラジオ体操も町会、場所、人数などのデータを取って全市的な取り組みにできればいいのではと思います。子供対象のラジオ体操ではなく健康のために老人も含めた体操が良いですね。

避難訓練も行っている場所と行っていない場所があります。今年は連合町内会に依頼してラジオ体操、避難訓練のデータを取ったほうが良いと思います。

《 庁内委員 》

市役所に避難訓練の報告がある町内会もあります。市も参加してくれないかと要請を受けることもあります。

《 部会長 》

今年は町内会にお願いしてラジオ体操、防災訓練、避難訓練の日時、場所、人数の報告を貰い、データの集約をしたほうがいいですね。

データの集約をし、他の町内会の取り組みも知れば競争心も煽れて参加者も増えると思います。

《 副部会長 》

天候にも左右されると思います。天気が良ければ出かけてしまう人が出てきます。過去に訓練を行ったときは雨が降ったのですが、合羽を着て傘をさして参加している小さい子供もいました。雨の中でも参加することが大事ですね。

《 庁内委員 》

他の町内会の取り組み内容は、各町内会で情報共有しているのですか。

《 副部会長 》

他の町内会の取り組みは把握しておりません。

《 庁内委員 》

データを集めて各町内会で共有すると今後の参考にもなりますよね。

《 部会長 》

そうですね。全市の町内会のデータを取れば来年以降の取り組みも変わりますね。とりあえず今年は、町内会を通じてデータを貰い集約していきましょう。

避難訓練も、災害はいつ発生するか分からないので、日にちを決めて天候が悪くてもその日にやる必要があると思います。

普段から避難訓練を行っていればいいですが、訓練を行っていないと知識も

なく有事の時に慌ててしまいます。

今年は総合防災訓練はやるのですか。

《市内委員》

今年は9月30日に登別中学校で総合防災訓練があります。

《副部長》

天候が悪かった場合、日程が変更になると聞きましたが。

《市内委員》

その場合は10月14日に開催する予定です。

《部長》

次の部長・副部長会議は6月15日で決定ですか。

《事務局》

6月15日に行います。

《市内委員》

今後の部会で何をやっていくかを、15日に予定している部長・副部長会議で発信すると思うのですが、ウォーキングマップを使用して避難場所を歩くことと防災訓練の各町内会のデータを集約してそれを共有していくという取り組みをやるという意見が出ましたがそのほかにはありますか。

《部長》

ラジオ体操はどうでしょう。体操はとても意義のあることだと思うので、毎日続けると効果が出てきますね。7日間から10日間やっていますが、もう何日か増やしてもいいのではないかという意見もあります。ですから全市的な取り組みにしてもいいと思います。

とりあえず今回は、各町内会で行う防災訓練の集約をすることでよろしいですか。

《市内委員》

社会教育グループが主管し1年に1度、市内の小学校を使用してラジオ体操会を行っています。その体操会には数百人集まります。しかし、7日間から10日間行うとなるとなかなか人も集まらないのが現状です。

《部会長》

今のラジオ体操は子供が20人も集まらず高齢者ばかりです。子供はいろいろな行事がありますが高齢者は声掛けをすればすぐに集まります。

単独ではなくグループで声掛けをすると出席率も良くなります。やっていく中でさまざまなアイデアも出てきます。

《庁内委員》

子供を集めるのが難しければ高齢者向けに人集めする方法もありますね。

《部会長》

とりあえず、この部会は今後防災訓練のデータ集約とウォーキングマップが完成したら活用し避難場所のウォーキングをする方向で進めたいと思います。

《事務局》

ウォーキングマップについてですが、多くの情報を入れることが難しいと話を聞きました。その中で、マップに二次元コードを入れて情報をたくさん読み取れるようにしてみてもどうかという話が出ているみたいです。

《副部会長》

マップは全戸配布しますか。

《庁内委員》

各公共施設に設置し、必要な方だけ持っていただくという形になります。

《事務局》

今回の日程は、部会長・副部会長と相談をして調整し開催したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

【次回開催内容】

部会長・副部会長会議の報告について

防災訓練のデータ収集内容について